

三位一体が分からない

シリーズ～さよならキリスト教～

2024/9/15

「三位一体って？」

- **ノンクリスチャンからよく向けられる質問**
 - 「キリスト教は唯一神なのに、なぜ『三位一体』を説くのですか？矛盾していませんか？」
- **クリスチャンの疑問**
 - 「三位一体について尋ねられたとき、どう答えたら良いのですか？」
- **「三位一体」は神学用語で、聖書にこの言葉はありません**
 - どのような経緯で日本語になったのか？
 - なぜ「さんい」ではなく「さんみ」と読むのか？

「三位一体」の歴史

- 聖書、主に新約聖書に記されている神に関する記述から導き出された「教理」
 - 教会誕生の頃から議論は始まっていた
- 最初の提唱者テルトゥリアヌス(2世紀)
 - ラテン語で「トリニタス(Trinitas)」と表現した
 - 神は唯一であるが、父・子・聖霊という3つの「ペルソナ(Persona)」が存在すると説明した
- 間違った考え方
 - 「顕現様態論」: 顕れ方が違うだけである
 - 「従属説」: 子は父に創造され、聖霊は子が創造

「三位一体」とは

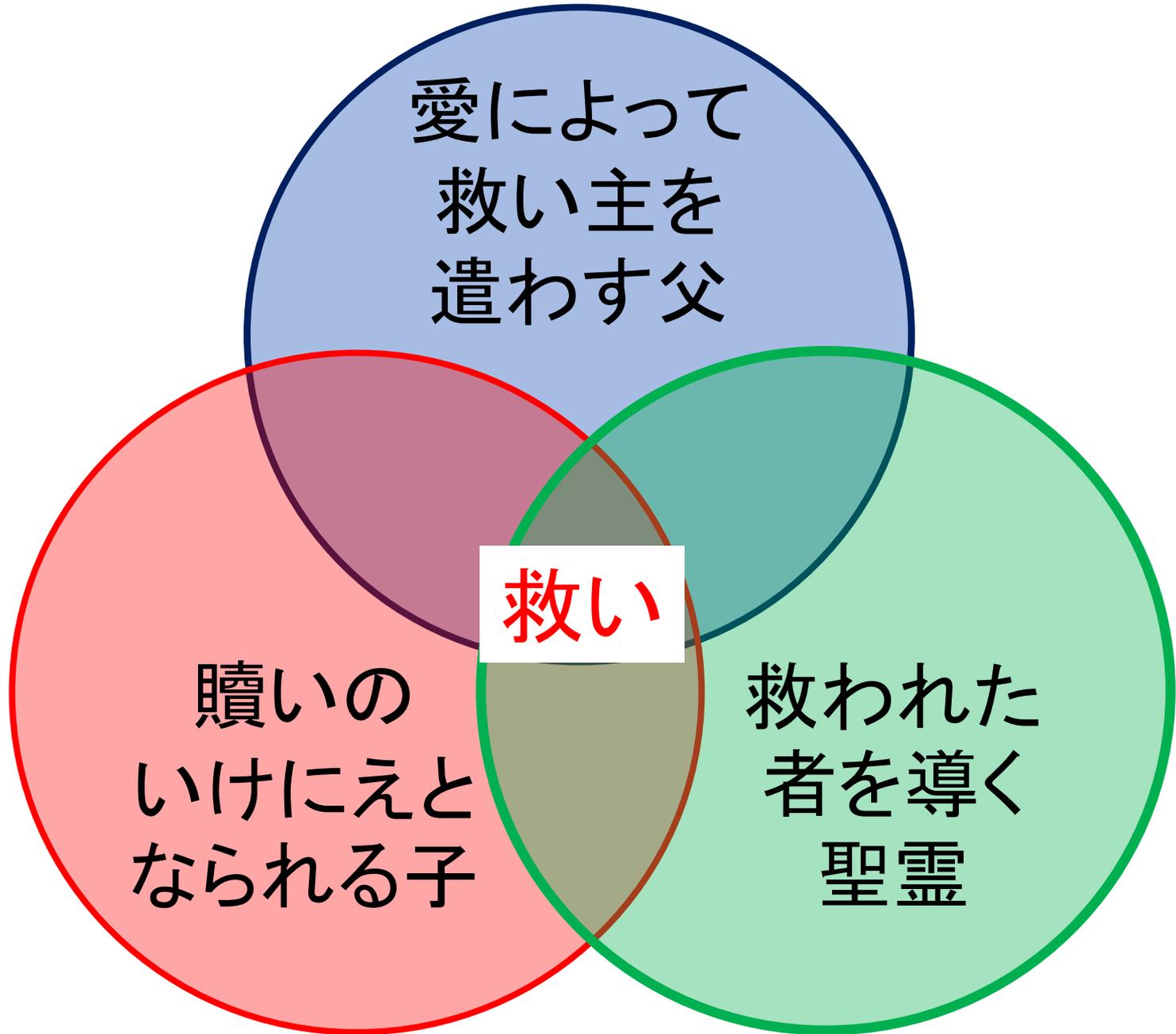
- 「位」は「位格」(ペルソナ)のこと
 - 父・子・聖霊それぞれが「個別的に自存」していることを意味している<人格
- 唯一の神でありながら父・子・聖霊として存在しておられる
 - 三者はそれぞれの役割を担っているが、本質的には同じ神であり、一体である
- 比喩による理解
 - H₂O: 氷・水・水蒸気
 - 色の三原色: 赤・青・黄
 - 次元: 1次元(線)、2次元(面)、3次元(空間)
 - 人間: 肉体・心・霊
 - 3本が作る面

どれも不完全

イエス様の言葉に現れた三位一体

- 「はっきり言っておく。子^紅は、父^青のなさることを見なければ、自分からは何事もできない。父^青がなさることはなんでも、子^紅もそのとおりにする。」ヨハネ5:19
- 「しかし、弁護者、すなわち、父^青がわたしの名によってお遣わしになる聖霊^緑が、あなたがたにすべてのことを教え、わたしが話したことをことごとく思い起こさせてくださる。」14:26
- 「だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父^青と子^紅と聖霊^緑の名によって洗礼を授け…」マタイ28:19

救いのための三位一体



父なる神

•万物の父としての神

- 神は父のような存在であるとイエス様によって知らされる
- 「天におられるわたしたちの父よ」(マタイ6:8)
- 「アッバ、父よ、…この杯をわたしから取りのけてください。」(マルコ14:36)

•独り子を犠牲にするほど愛される神

- 「神は、**その独り子をお与えになったほどに、世を愛された**。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」(ヨハネ3:16)

子なる神

- 人となり、完全な見本を示す

- 「信仰の創始者また完成者であるイエスを見つめながら。」ヘブライ12:2

- 「わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。」マタイ11:29

- 全人類の贖いのいけにえとなる

- 「けれども、キリストは、…雄山羊と若い雄牛の血によらないで、御自身の血によって、ただ一度聖所に入って永遠の贖いを成し遂げられたのです。」ヘブライ9:11-12

聖霊なる神

• 子なる神に代わって信じる者に遣わされる

- 「わたしは父にお願いしよう。父は別の弁護者を遣わして、永遠にあなたがたと一緒にいるようにしてくださる。」ヨハネ14:16

• 信じる者を助ける聖霊

- 「しかし、弁護者、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、わたしが話したことをことごとく思い起こさせてくださる。」14:26
- 「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、**わたしの証人となる。**」使徒1:8

私のための三位一体

